

令和5年 11 月 13 日

総務産業常任委員会
委員長 田村 大治郎 様

総務産業常任委員 有田 茂

総務産業常任委員会行政視察報告書

下記の日程で行政視察を実施しましたので、別紙のとおり報告します。

記

1. 視察期日及び視察先

令和5年10月30日(月)

広島県神石高原町 「生活交通対策について」

10月31日(火)

島根県美郷町 「有害鳥獣対策について」

2. 視察参加名簿

委員長 田村 大治郎

副委員長 松岡 秀樹

委員 重廣 正美

委員 有田 茂

委員 早川 文乃

委員 西村 良一

委員 田中 千秋

以上7名

3. 視察報告・所感 別紙

(別紙)

視察先	広島県神石高原町			
視察日時	令和5年10月30日 13:30~15:00			
視察項目	生活交通対策について			
対応部署名	総務課			
自治体概要	面積	381.98 km ²	高齢化率	49.7%
	人口	8,070人		
	世帯数	3,782世帯		R5.10月データより
	広島県の東部に位置し、北は庄原市、南は福山市、東は岡山県高梁市、西は府中市と接しており、福山市中心部までの距離は約30km。平成16年11月5日4町村（油木町、神石町、豊松村、三和町）が合併して「神石高原町」が誕生した。			
視察内容				
神石高原町の交通対策について				
1. まちの紹介				
・ 特徴：やまなみに集落が点在し、隣の家まで遠い 10戸未満の小規模 高齢化集落が多い マイカー社会 電車がない				
2. 生活交通対策				
・ 合併時 : 路線バス21系統、福祉タクシー助成事業 (各種手帳保持者、75歳以上非課税者) タクシーチケット48枚/年				
・ H18~H20 : 路線バス18系統				
・ R3 : 路線バス3系統、町営バス2系統				
所 感				
・ まちの形状からして、交通対策は大変難しい。 ・ 乗員不足によるバス路線も縮小。 ① ふれあいタクシー事業 ② 町外医療機関通院者支援事業 ③ 運転免許証自主返納者支援事業 ・ いずれの事業を見ても大変厳しい状況である。 ・ わが市もデマンド交通としても難しい点は共通している。 ・ それぞれの支援事業もお金がかかるので、財政面が問題。 ・ どこまで支援をするのか線引きが大変難しい問題。				

(別紙)

視察先	島根県美郷町			
視察日時	令和5年10月31日 10:00~11:30			
視察項目	有害鳥獣対策について			
対応部署名	美郷バレー課、吾郷地域婦人会（青空サロン） 雅ねえ（井上雅央氏）			
自治体概要	面積	282.92 km ²	高齢化率	47.9%
	人口	4,355人		
	世帯数	1,844世帯		R2国勢調査より
	平成16年10月1日邑智町、大和村の合併により誕生 「美郷（みさと）」の町名には、自然豊かな美しい故郷（ふるさと） をいつまでも残しておきたいという住民の願いが込められており「み さと」という響きを持つ温もりは、人情豊かで住民がいきいきと暮ら しているこの地域を非常によく表しており、新町の名称として決定さ れた。			
視察内容				
<p>▶美郷町の鳥獣被害対策 3者（農業者等、駆除班（猟友会）、自治体）の利害関係の相異 鳥獣対策の捕獲と狩猟の混同 ジビエ獣肉利活用の実態「農」と「商」の利害がずれていた</p> <p>▶おおち山くじら物語 第1章（点） 獣害対策の抜本的改革 第2章（線） 夏イノシシ資源利活用 第3章（面） 地域づくり・コミュニティビジネス 鳥獣と人間との戦い、過疎・人口減少の波との闘い 第4章 定住・雇用・ローカルビジネス 「産」「官」「学」「民」によるヒト・モノ・カネ・情報の集約 と新しい取組やノウハウ 麻布大学フィールドワークセンター開設 第5章 美郷バレー構想（2019年～）</p>				
所 感				

- ・ 猟友会依存の組織体制から、農家・住民主体の捕獲体制へ再編したこと。
- ・ 食肉、ペットフード、皮革、家畜飼料原材料など余すことなく活用すること。
- ・ イノシシ肉を「山くじら」と呼び、獣害対策や特産品づくりに取り組んだこと。
- ・ 「産」「官」「学」「民」が集う獣害対策版シリコンバレー「美郷バレー」構想に基づき広がる連携協定を企業と締結したこと。
- ・ 吾郷地域婦人会が、サルやイノシシに強い畑づくりの取組
- ・ 「鳥獣害が増える原因は、人知らず知らずに餌付けに成功してしまっている」と雅ねえ（井上雅央氏）の言葉が、今後の対策の参考になる。
- ・ わが市もこれを参考にすると感じた。
- ・ 特に美郷バレー課の安田氏の熱意が素晴らしい。